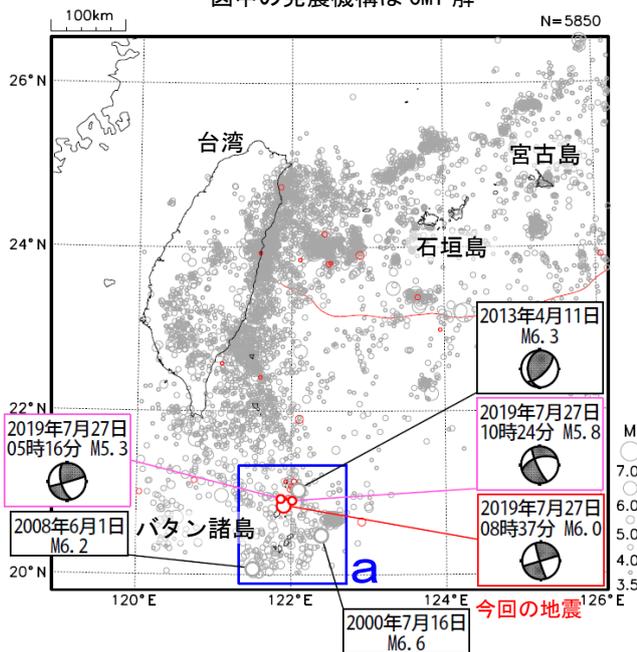
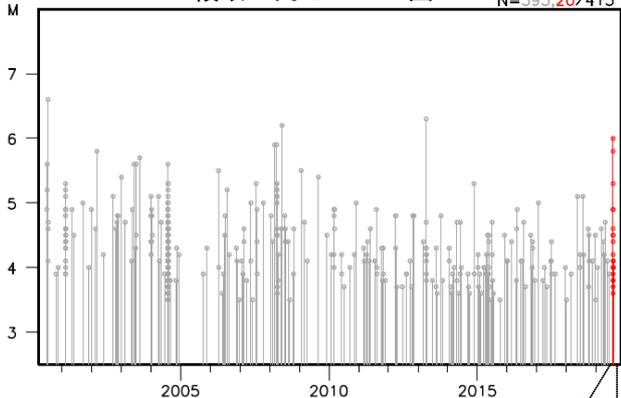


7月27日 フィリピン付近の地震

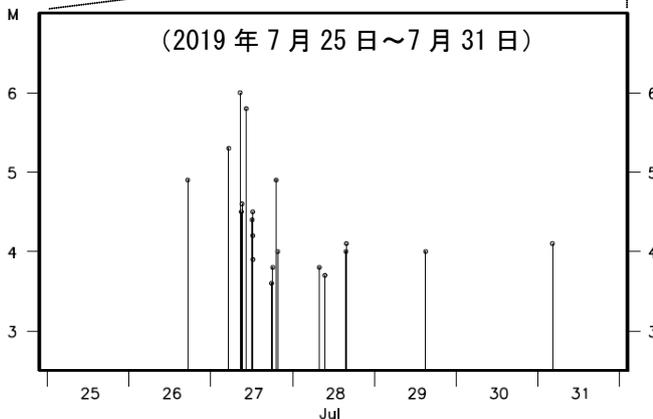
震央分布図
(2000年7月1日～2019年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.5$)
2019年7月以降を赤で表示
図中の発震機構はCMT解



領域 a 内の M-T 図 N=395, 20/415



(2019年7月25日～7月31日)



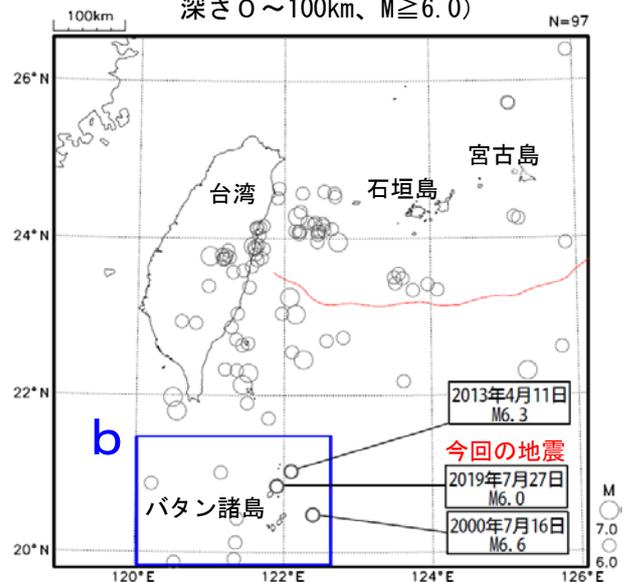
2019年7月27日08時37分に、フィリピン付近でM6.0の地震（日本では震度1以上を観測した地点なし）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により、フィリピンのバタン諸島では死者9人、負傷者64人、家屋全壊・半壊を合わせて266棟等の被害*が生じた（7月31日現在）。

今回の地震の発生前後には、05時16分にM5.3の地震が、発生後の10時24分にM5.8の地震が発生している。

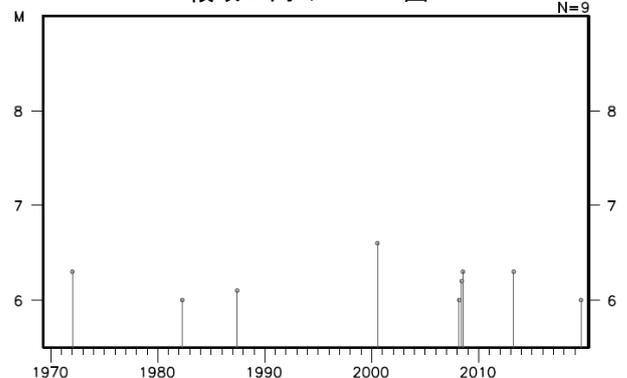
2000年7月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、2000年7月16日にM6.6の地震（日本では震度1を観測）が発生している。

1970年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。

震央分布図**
(1970年1月1日～2019年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



領域 b 内の M-T 図**



*今回の地震の被害については、OCHA(国連人道問題調整事務所)による。

**※図中において、今回の地震、及び2000年7月16日のフィリピン付近の地震(M6.6)、2013年4月11日の台湾付近の地震(M6.3)の震源要素は気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2019年7月31日現在)。